

品番 DXL-81077・DXL-81078

**保証とアフターサービス**

**DAIKO 照明器具 保証書**

お客様	お名前	販売店名・住所・電話番号
	ご住所	
お電話 ( ) -	お買い上げ日 保証期間(お買い上げ日より:器具本体 3ヵ年) ※保証期間の例外: 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。	
※お客様へのお願い 本書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。 本書は、本書記載内容で無償修理を行うことを約束するものです。		
1. 保証について 取扱説明書、本体表示ラベル等の注意書に従った正常なご使用状態で上記の保証期間中に故障した場合には、商品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。尚、消耗品は対象外といたします。 お買い上げの販売店に修理をご依頼にならない場合には、お近くの大光電機お客様相談窓口にご連絡ください。		
2. 保証期間中の無償修理に該当しない事項について 次の様な場合には、保証期間中でも有償修理になります。 (1) 取扱説明書及び本体表示ラベルと異なる施工による不備及び使用上の誤り、又は不当な修理や改造による故障及び損傷 (2) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障及び損傷 (3) 一般家庭用以外(例えば業務用等)に使用された場合及び車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷 (4) この商品について出張修理をご希望の場合には出張に要する実費を申し受けます。 (5) 日本国内外での使用による故障及び損傷 This warranty valid only in Japan (6) 本書及び領収書のご提示のない場合 (7) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、字句を書き替えられた場合		
3. ご転居の場合について ご転居の場合の修理ご依頼先はお買い上げの販売店又はお近くの大光電機お客様相談窓口にご連絡ください。		
4. ご贈答品の場合について ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無償修理をお受けになれない場合には、お近くの大光電機お客様相談窓口にご連絡ください。		
この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又は大光電機お客様相談窓口にお問い合わせください。その際は器具の型番、器具の症状、お買い上げ時期をお知らせください。 お客様にご記入いただきました保証書は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。		
商品の取扱いについてのお客様相談窓口 ナビダイヤル(全国共通) 0570-003-937		受付時間(月曜日～金曜日) 9:00～17:00 土・日・祝祭日、夏季、年末年始休業日は受付しておりません。

**点検とお手入れ方法**

1. 明るく安全に使用するために6ヵ月に1回程度、点検および清掃を行うことをおすすめします。

(1)点検項目 (2)清掃 器具やLEDにホコリがつくと、明るさを損なうばかりか、器具自体の寿命を短くします。

清掃箇所	清掃方法
金属メッキ処理 金属塗装処理	傷つきやすい部分ですから、柔らかい布で1～2回軽く拭いてください。
アクリル プラスチック	薄めた中性洗剤を使用し、洗剤が残らないようよく水洗いしてそのまま乾かしてください。 乾いた布で拭くと静電気が生じ、ホコリがつきやすくなります。(但し、金属部は除く)
木・竹・籐 布・和紙	こまめにハタキや柔らかいハケ、ブラシでホコリを落とし、目の細かい柔らかな布で軽く拭いてください。
ガラス	中性洗剤またはスプレー式ガラスクリーナーを使用したのち水洗いし、自然乾燥してください。 消しグローブは素手でさわると指紋がつきます。ゴム手袋等を使用してください。

※ガソリン、シンナー、みがき粉、サンドペーパー、たわし等は使用しないでください。

2. 異常時の処置  
異常を感じた場合は、速やかに電源を切って、販売店、工事店、または当社「お客様相談窓口」までお申し出ください。  
(部品等の取り替えは勝手にしないでください。)

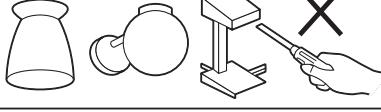
このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

## お客様へ

- ご使用の前に安全上の注意と取扱説明をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 施工前に安全上の注意と施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 本説明書は大切に保管してください。

**安全上の注意**

**警告** 取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負うことが想定されます。

<b>!</b> 嚴守	この器具は天井取付専用器具です。指定場所以外には取付けないでください。火災・落下の原因となります。	<b>!</b> 禁止	器具の直下や近くでは、火気等を使用しないでください。火災・感電・落下の原因となります。 
<b>!</b> 嚴守	突出部のある天井 凸凹のある天井 平面部がφ1200mm 未満の天井 傾斜した場所 ケースウェイに 取付いているもの	<b>!</b> 禁止	器具にその他の荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わないでください。火災・感電・落下の原因となります。
<b>!</b> 嚴守	取付強度不足の天井 補強のない場所 (ベニヤ板や石膏ボードなど) 船底天井 サオブチ・格子天井	<b>!</b> 分解禁止	器具の改造、部品の変更は行わないでください。火災・感電・落下・転倒等の原因となります。 
<b>!</b> 嚴守	電源電圧は、器具銘板または本説明書に記載されている定格電圧でご使用ください。過電圧を加えるとLED寿命が短くなるほか、部品が過熱し火災・感電の原因となります。	<b>!</b> 嚴守	煙・臭い等の異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。火災・感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店、または当社「お客様相談窓口」にご相談ください。 
<b>!</b> 禁止	周囲温度-5～35°C以外では使用しないでください。火災の原因となります。		

**注意** 取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか物的損害の発生が想定されます。

<b>!</b> 嚴守	電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。
<b>!</b> 注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>●照明器具には寿命があります。</li> <li>●設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。※使用条件は周囲温度30°C、1日5.5時間点灯、年間2000時間点灯。</li> <li>※点検は、本説明書に従って行ってください。</li> <li>●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。</li> <li>●点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。</li> </ul>

大光電機株式会社

〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-2-7 高麗橋ビル6F

LC10-81077-A 1

## 施工説明 工事店様へ

- 施工前に施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 本説明書は必ずお客様にお渡しください。

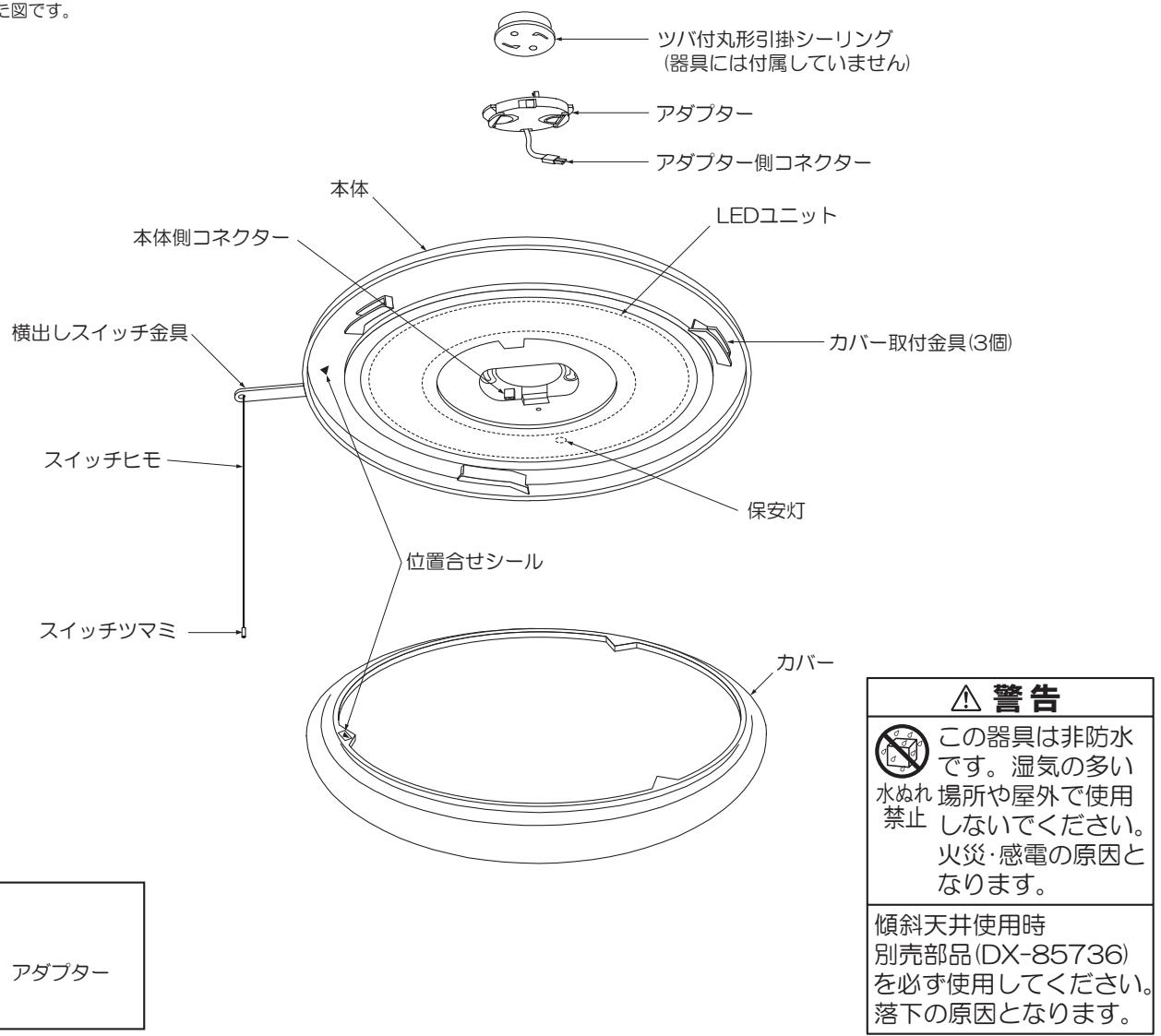
## 仕様

- 屋内天井取付専用器具です。
- 器具にはアクリルを使用しております。取扱いは丁寧に行ってください。
- 引掛シーリング取付専用器具です。

品番	DXL-81077	DXL-81078
定格電圧	交流 100V	
周波数	50/60Hz兼用	
消費電力	29W	40W
入力電流	0.3A	0.4A
LEDユニット	演色性 Ra83 昼光色(6500K) (81灯)	演色性 Ra83 昼光色(6500K) (114灯)
	LEDモジュール寿命(h):40,000	
保安灯	LED 0.5W 電球色	
器具重量	約2.1kg	
電源接続	引掛シーリング	

## 各部の名称

※下図は、簡略した図です。



## 取扱説明 お客様へ

- ご使用の前に安全上の注意と取扱説明をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

## ご使用方法

- 点灯の切り替えは、スイッチヒモを引いてください。下図の順に切り替わります。



注)壁スイッチがOFFの場合は、点灯の切り替えはできません。

## カバーの取外し方法

### ⚠ 警告

必ず電源を切り、器具とLEDが冷めてから取外してください。感電・やけどの原因となります。

### ⚠ 注意

LEDを長時間直視するのをおやめください。目に悪影響を及ぼすおそれがあります。

### 1. カバーを取外す

①カバーを左にまわす

カバー

②カバーをはずす

### 2. カバーを取付ける

本紙の⑦「カバーを取付ける」の項をご参照ください。

## LEDについて

- LEDユニットは交換できません。
- LEDにはバラツキがあるため、商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- 設置してから約8~10年、LEDは寿命が来ても暗くなりますが点灯し続けます。外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。器具を点検のうえ、交換してください。
- LED器具の近くでほかの光高周波方式リモコン器具を使用しないでください。誤動作の原因となります。
- LED器具の近くで室内アンテナ使用のテレビやラジオを使用した場合、画像の乱れや雑音などが発生することがあります。
- LEDを長時間直視するのをおやめください。目に悪影響を及ぼすおそれがあります。

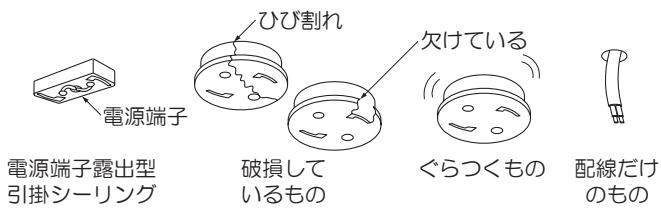
## ご使用上のご注意

- 調光比は約60%ですが、室温、器具によって多少変化します。また調光状態になるまで数秒かかることがあります。
- 天井の材質や構造によっては天井面が変色することがあります。
- 器具に殺虫剤等をかけないでください。カバー、グローブ等の落下・変質・変色の原因となります。
- 点灯時、消灯後には若干のきしみ音が発生しますが、異常ではありません。

## 施工説明

### 1 配線器具を確認する

#### ●使用できないもの



#### ⚠ 警告

上記のような配線器具には、器具を取り付けないでください。  
火災・感電・落下の原因となります。  
配線器具の交換・取付けは資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。

#### ●使用できるもの

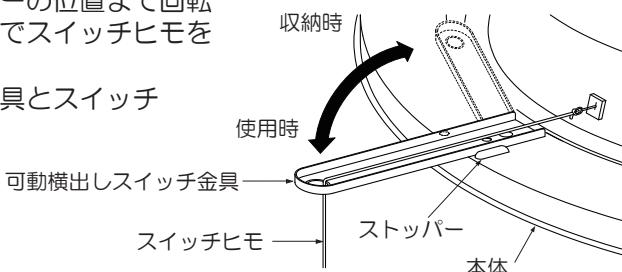


#### ⚠ 警告

配線器具は充分な強度で取付けされていることを必ず確認してください。火災・感電・落下の原因となります。

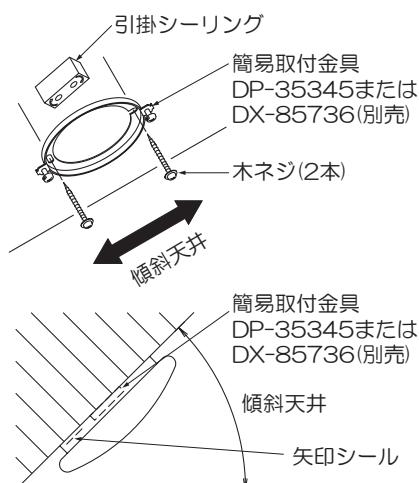
### 2 可動横出しスイッチ金具をセットする

- 可動横出しスイッチ金具をご使用の場合は、必ずストッパーの位置まで回転させてください。可動横出しスイッチ金具を収納したままでスイッチヒモを引っ張ると、スイッチ・本体の破損の原因となります。
- 壁スイッチのみでご使用になる場合は、横出しスイッチ金具とスイッチヒモを回転させて、本体の裏に収納してください。



### 3 傾斜天井(水平から45°)に取付ける場合

- 必ず別売の簡易取付金具DP-35345または、DX-85736を使用してください。
- 取付用木ネジおよび簡易取付金具DP-35345またはDX-85736(別売)の耳を傾斜天井に対して縦方向にして、引掛シーリングが中央に入るよう、簡易取付金具を木ネジ(2本)で天井面の補強材のある位置に取付けてください。

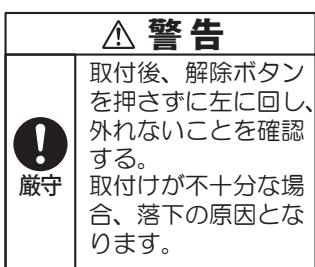
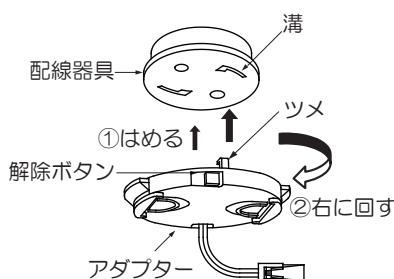


#### ⚠ 警告

この器具は単体での傾斜天井への取付けはできません。傾斜天井(水平から45°)へ取付けの際は、上記条件をおまもりください。指定以外の取付けは、落下によるけがの原因となります。

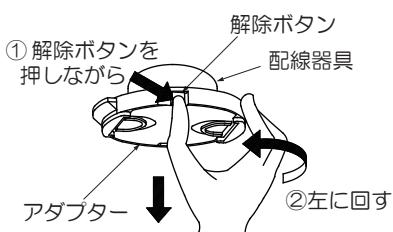
### 4 アダプターを取付ける

- アダプター(ツメ)を配線器具(溝)に合わせ、音がするまで右に回してください。



#### <アダプターの取外し>

- アダプターの解除ボタンを押さえながら、左に回してください。

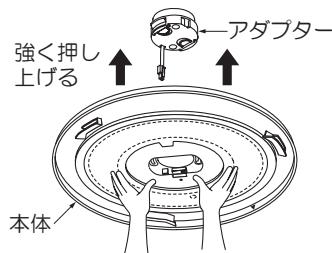


## 施工説明

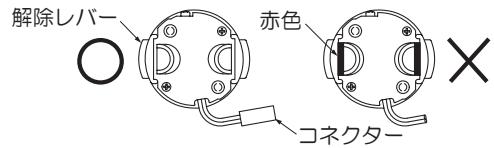
### 5 本体を取付ける(器具本体の表示も必ず確認のうえ、作業してください。)

- 下記の配線器具(高さ)の種類により取付けが異なります。下記内容に従い取付けを行なってください。

- 本体(センター穴)をアダプターに合わせて、天井に密着するまで確実に押し上げて固定してください。



※アダプターの解除レバーの赤色が見えている場合は、本体センター穴付近を再度押し上げてください。



#### △ 警告



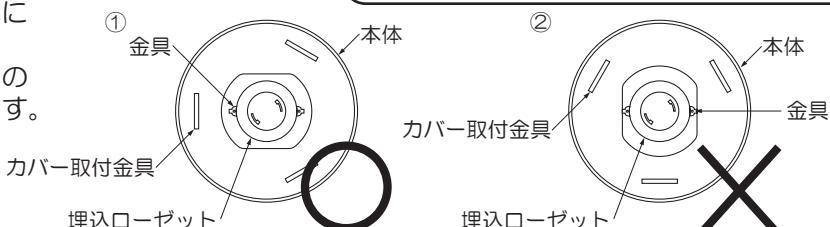
本体が次のような場合は、再度本体を押し上げてください。そのまま使用すると落下的原因となります。

- ガタガタする。
- 簡単に回転する。

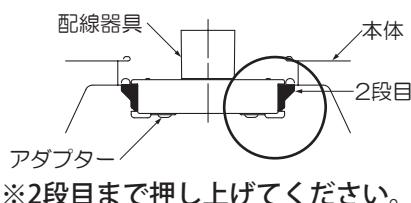
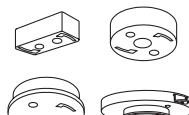
#### 注)埋込ローゼットに取付ける場合

配線器具が埋込ローゼットの場合は、本体に方向性がありますので注意してください。

②の方向で取付けた場合、埋込ローゼットの金具に本体が当たり、傾くおそれがあります。必ず①の方向で取付けてください。

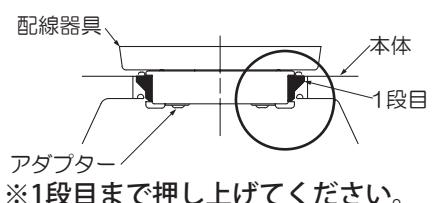


#### ※下記配線器具(高さ約22mm)の場合



※2段目まで押し上げてください。

#### ※下記配線器具(高さ約11mm)の場合



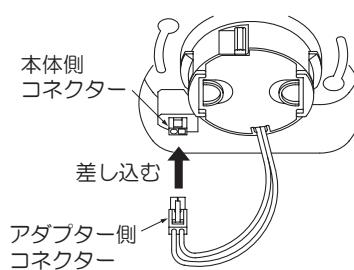
※1段目まで押し上げてください。

### 6 電源を接続する

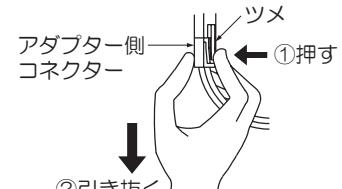
- アダプター側のコネクターを本体側コネクターに最後まで差し込み、確実に接続してください。(コネクターには方向性がある為、方向を合わせて接続してください。)

#### △ 警告

接続が不完全な場合は、接続不良による火災の原因となります。



#### △ コネクターの取外し



- アダプター側コネクターのツメを押さえながら引き抜いてください。

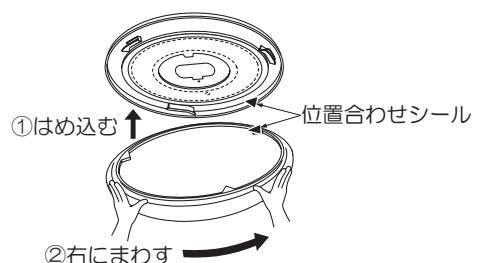
### 7 カバーを取付ける

注)破損したカバーは、使用しないでください。落下の原因となります。

- 本体とカバーの位置合わせシールを合わせて、はめ込んでください。
- カバーが止まるまで右にまわしてください。カバーが確実に取付いていることを確認してください。

#### △ 警告

取付けが不完全な場合、落下の原因となります。



### 8 使用前に確認する

- 取付状態・点灯状態を確認してください。